

CSV 通信

令和 7年 5月27発行

東京都立中野特別支援学校+

しいの木分教室

校長 和田 慎也

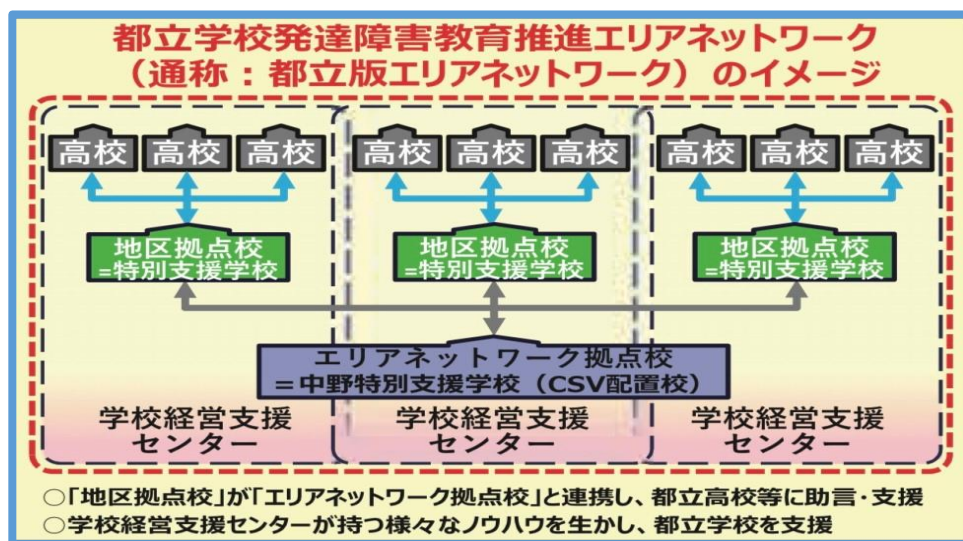
文責:今本 和宏 堀切 美和

★都立版エリアネットワークについて★

令和 4 年度から都立高等学校等の発達障害教育の推進を目的として、「都立学校発達障害教育推進エリアネットワーク（都立版エリアネットワーク）」が開始されました。

高等部のある知的障害特別支援学校が「地区拠点校」となり、学校経営支援センターの統括学校経営支援主事（自立支援担当）、CSVと連携しながら、近隣エリアの高等学校等を支援します。

特別支援学校が一方通行的に支援をするだけでなく、高等学校の取り組みや視点を特別支援学校でも取り入れ、お互いに高め合う関係として連携をしています。



★都立中高一貫教育校での特別支援教室の指導について★

令和3年度から都立中高一貫教育校（前期課程・中学校）の特別支援教室の指導が開始されました。中等教育学校、附属中学校10校の授業を担当しています。

また、令和4年度から都立立川国際中等教育学校附属小学校が開校となり、小学校の特別支援教室も開級しています。

特別支援教室での巡回指導

- 対象の児童・生徒に、学習や生活でのつまづきや困難に対する指導や支援を行う
- 特別支援教室では、一人一人の障害の状態や発達の段階に応じた指導目標を設定して、「自立活動」の指導を行う
- 在籍学級における指導方法の工夫や配慮による支援について、担任や教科担当の先生方の相談に応じる

※図・表はリーフレットより抜粋

★令和6年度活動実績について

※訪問・支援回数(のべ CSV 派遣人数)

① 都立小学校・都立中学校・都立中等教育学校(前期課程)特別支援教室での巡回指導

	1 学期	2 学期	3 学期	計
令和 6 年度	210 回	358 回	244 回	812 回

・特別支援教室の申請は、4月開始、9月開始、1月開始と年3回実施されています。

・利用する児童・生徒数が増えてきており、令和6年度は9校34名に指導を行いました。

② 都立中高一貫教育校及び島しょ地区高等学校の支援

	1 学期	2 学期	3 学期	計
令和 6 年度	46 回(63 人)	12 回(30 人)	59 回(62 人)	117 回(155 人)

・島しょ地区は、オンラインを活用してケース検討会や連絡会を実施しています。

・中高一貫教育校は、年に3回、連絡会を実施し、各校の状況等を情報共有しています。

③ 地区拠点校(都立特別支援学校 知的・高等部)との連携、高等学校支援

	1 学期	2 学期	3 学期	計
令和 6 年度	159 回(287 人)	72 回(111 人)	37 回(52 人)	268 回(450 人)

・地区拠点校と連携して高等学校への初回訪問への同行等を行っています。

・高等学校から依頼のあった研修を地区拠点校のコーディネーターと一緒にを行っています。

④ CSV の研修派遣

	1 学期	2 学期	3 学期	計
令和 6 年度	15 回(18 人)	6 回(6 人)	8 回(12 人)	29 回(36 人)

～研修テーマの例～

「ユニバーサルデザインの考えに基づく支援方法」

「困り感のある生徒の理解について～発達障害や感覚過敏～」

「都立高等学校の通級及び、都立中高一貫教育校の特別支援教室について」

「特別支援教室・通級について～困り感のある生徒の理解と支援～」

「都立高校の発達障害教育～多様な学校と都立版エリアネットワーク～」等

都立版エリアネットワーク3年目の令和6年度は、各校の取組が大きく進んだ1年となりました。

研修派遣では、小中高の情報の引継ぎに焦点を当てたテーマや、大学入試における合理的配慮など、今日的なテーマでの依頼が増えてきました。令和7年度も引き続き、連携して都立版エリアネットワークを広げていきたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。